

様式第2号（第3条、第7条及び第8条関係）

事業実績書

令和2年3月31日

団体名 綾部障害児者を守る連絡会

<p>事業の目的 (何のために行う事業なのか など、事業の趣旨や目的を記 入してください。)</p>	<p>特別支援学校・特別支援学級に在籍する児童・生徒の長期休業 中における必要な療育を保障する事により、障害児の健全な育 成を進めるとともに保護者の介護負担の軽減を図る事を目的と する。</p>
<p>事業の名称</p>	<p>綾部障害児季節療育支援事業</p>
<p>事業費 (市補助金)</p>	<p>543,467 円 ( 80,000 円)</p>
<p>補助金の使途 (団体活動のどんな事業経費 に補助金が充当されるか記入 してください。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費（会場使用料、移動交通費、教材費など）</li> <li>・事務費（切手、封筒、コピー代など）</li> <li>・ボランティア保険</li> <li>・ボランティア実費弁償（交通費）</li> </ul>
<p>事業実施期日</p>	<p>平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日</p>
<p>事業実施場所</p>	<p>綾部市ふれあいセンター 綾部市保健福祉センター 市民プール など</p>
<p>事業の概要 (事業の実施方法、内容につ いて記入してください。)</p>	<p>別紙</p> <p>「令和元年度心身障害児季節療育支援事業補助金実績報告 書」を参照</p>
<p>補助金の効果（成果） (得られた成果を記入してく ださい。)</p>	<p>長期休業中の在宅になりがちな障害のある児童・生徒の療育 を実施することで、仲間と生き生きと活動する機会を保障する ことができた。</p>

様式 (2-2-①)

令和元年度心身障害児季節療育支援事業 補助金実績報告書

事業 (呼称) 名 : 綾部障害児季節療育支援事業

【実施主体】

団体名 : 綾部障害児者を守る会

代表者氏名 : 坪内晴且

同 連絡先 : 綾部市上野町西ヶ窪 2-29

Te l : 0773-42-3578

期 間	春 期	夏 期	冬 期	春 期	
実施期間 及び 時 間	4/1 ~ 4/1 1日間実施 9:30~ 15:30	7/20~ 8/30 8日間実施 9:30~ 15:30	12/24 ~1/5 3日間実施 9:30~ 15:30	3/24~ 3/31 2日間計画	年間事業 実施日数 延べ12日
実施内容	どうぶつ王 国見学	散歩 プール 川遊び バス遠足 電車遠足	クリスマス会 ミニコンサー ト 散歩 ボーリング 初詣 凧上げ 外食	2回計画して いたが新型コロ ナウイルス感染 拡大のため中止	
実施場所	神戸どうぶ つ王国	綾部ふれあい センター 市民プール 福井こども家族館 東舞鶴ラポール 上林山の家	綾部ふれあ いセンター サンケイボウ ル ジョイフル		

\*実施内容等について詳しいことは、資料を添付してください

## 〔参加者(特別支援学校在籍児童)・指導者状況〕

期 間	春 期	夏 期	冬 期	春 期	備 考
参加者数 特別支援学 校、特別支援 学級に在席 の児童のみ	実人数 12名 延べ 12名 1日平均 12名	実人数 14名 延べ 76名 1日平均 10名	実人数 17名 延べ 48名 1日平均 16名	実人数 名 延べ 名 1日平均 名	
指導者数 ①～⑤の 合計 数	実人数 22名 延べ 22名 1日平均 22名	実人数 19名 延べ 81名 1日平均 11名	実人数 27名 延べ 72名 1日平均 24名	実人数 名 延べ 名 1日平均 名	
指導者の 内 訳	① 学校関係者 4名 ----- 学校別内訳 (中丹支援学校) 4名 ( ) ----- 名	学校関係者 2名 ----- 学校別内訳 (中丹支援学校) 2名 ( ) ----- 名	学校関係者 2名 ----- 学校別内訳 (中丹支援学校) 2名 ( ) ----- 名	① 学校関係者 名 ----- 学校別内訳 (中丹支援学校) 4名 ( ) ----- 名	
	② 民生児童委員 名	② 民生児童委員 名	② 民生児童委員 名	② 民生児童委員 名	
	② 学生 12名	③ 学生 10名	④ 学生 19名	② 学生 名	
	④ 施設等職員 名	④ 施設等職員 名	④ 施設等職員 名	④ 施設等職員 名	
	⑤ その他 (一般) 3名 (保護者) 3名	⑤ その他 (一般) 4名 (保護者) 3名	⑤ その他 (一般) 3名 (保護者) 3名	⑤ その他 (一般) 名 (保護者) 名	

その他：参加者の様子等について記入してください。

- ・神戸どうぶつ王国では、動物にふれ楽しむ事ができた。
- ・夏休みは暑い中散歩をし、プールで楽しく泳ぐことができた。暑い時間帯は、宿題や自由課題にも挑戦できた。・川遊びは親子取組として充実した時間が過ごせた。
- ・福井こども家族館では、ボールプールで思いっきり遊べた。
- ・電車遠足は電車に乗り、海辺までの散歩や外食の体験を積むことが出来た。
- ・クリスマス会では、ヘルマンハーブの生演奏を聞いたり、みんなでクリスマスソングを歌って、たのしくすごした。

\*参加者数については、特別支援学校、特別支援学級のみ的人数を記入してください。

\*指導者数内訳の「その他」の欄に、きょうだい、付添いの家族等は記入しないでください。

児童・指導者実人数は、登録制の場合は登録人数を記入し、そうでない場合は、1日の参加人数が最大であった日的人数をそれぞれに記入してください。

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収支決算書

令和2年3月31日

団体名 綾部障害児を守る連絡会

(単位 円)

	区分	予算額	収入済額	明細
	収入の部	市補助金	80,000	80,000
社協補助金		100,000	100,000	社協赤い羽根共同募金
府補助金		350,000	350,000	京都障害児親の会協議会を通じ
参加者負担金		12,000	13,400	参加費(100円×134人)
雑収入		3,000	67	利子 他
	合計	545,000	543,467	
	区分	予算額	支出済額	明細
	支出の部	事業費	177,000	254,262
事務費		70,000	46,375	連絡ハガキ コピーなど
ボランティア保険		60,000	26,580	行事保険・ボランティア保険
ボランティア交通費		238,000	216,250	学校関係者 ボランティア
	合計	545,000	543,467	
差引		0	0	

上記のとおり相違ありません。

事業実施団体：綾部障害児を守る連絡会